

県立高等養護学校新築工事

受賞機関 熊本県土木部営繕課

はじめに

本施設は、中学特殊学級等を卒業する軽度の知的障害者の生徒を対象に、社会自立に必要な職業能力を培い、卒業後は一般企業等へ就職し生活できる生徒の育成を目指した教育を行う県内初の高等養護学校として計画されたものである。

施設の概要

熊本市郊外の農業公園や県立農業大学校に隣接した牧歌的環境の中にある本施設は、全体計画を周辺地域の景観にとけ込むように、また用途上の配慮から木造平屋建てとしている。造成工事は自然の地形を生かした最小限とし、敷地の形状に合わせて施設の機能毎に分棟形式で配置、施設中央には地域交流を深めるように広場を設けている。

また施設の内外装は、教育環境を意識した「ひとに優しい空間」となるよう杉・檜等の天然材を多く採用している。

建築概要

構造・規模：平屋建 木造及び鉄骨造、一部RC造
敷地面積：38,000.00㎡
建築面積：8,592.94㎡
延床面積：7,301.06㎡
工事期間：平成12年6月27日～平成13年2月28日
事業費：約21億円

事業の特徴

事業形体は、全てを建築工事として行わず、造成や校内の舗装等の部分については、土木工事として



作法室デッキより学習棟を眺める



広場（中庭）より実習棟を眺める



窯業実習風景

発注を行っている。また建築工事においても、分棟形式の施設配置と短工期で施設の完成を目指すため、工区を分けて発注、各棟の工事を同時進行で行うこととした。

構造材や内外装材は、当初から杉・檜等の木材をかなり多く使用することが分かっていたため、数量や材質、要求品質等の情報を整理することで、木材の手配や検査等の作業がスムーズに行えるよう体制を整えた。

コスト縮減については、最小限の造成による土工事の低減、特殊製品等を避けることによるメンテナンス効率の向上、軒の出を大きくし施設の耐久性の向上を図るなどライフサイクルコストも視野に入れた対策を行っている。

また地域へ開かれた施設として活用するため、段差解消や多目的トイレの設置などバリアフリーに配慮し、内外装材の木材（天然材）活用などVOC（揮発性有機化合物）低減にも配慮した居住環境の向上に努めている。